

## 第 31 回理事会議事録

1. 日 時：2016年3月25日（金）午後6時30分～11時
2. 場 所：東京都新宿区四谷1-13 虎ノ門実業会館四谷ビル 2F 四谷ブリッジセンター
3. 出席者：【理事12名】細田博之（～8:00）、鳩山勝郎、大橋正幸、兼岩芳樹、  
ロバート・ゲラー、齋藤陽子、島村京子、高崎恵、寺本直志、  
橋本公二、山田和彦、吉田正  
【監事2名】神代高弘、成田秀則  
【事務局3名】清水映樹事務局長代行、大政哲人事務局長代行補佐、  
鈴木正人競技会事業部長代行  
【オブザーバー1名】宮内宏顧問弁護士  
(理事現在数：12名、定足数7名、本人出席12名)

### 4. 議事の経過及び結果

細田博之会長を議長に、細田会長退席後は鳩山勝郎会長代行を議長に、議題を逐一審議した。

#### 第1号議案 第30回理事会議事録案の承認について

議事録案を承認した。また、第29回理事会議事録についても修正案を承認した。また、第28回理事会議事録に中谷理事の辞職について記載がないとの指摘があり、これについても追加修正を行うことに決定した。

大橋理事より四谷ブリッジセンターのセキュリティ管理について今回の議案に取り上げられていない点について、理事会で検討したことを記載すべきと発言があり、四谷ブリッジセンターに対して再発防止策の提出を求めることに決定した。

また、細田会長より2020年に開催をめざすマインドスポーツ五輪大会について、2月に関係者で打合せを行ったとの説明があり、今後連盟事務局も連携して欲しいと発言があった。また、2018年アジア競技大会でのブリッジ種目採用に向けてJOC加盟を働きかけることになった。

#### 第2号議案 正会員の申込について

以下の会友より提出された入会申請について審議を行い、入会を承認した  
相田義晃（会員番号16252）推薦者：山村紀久代、神代高弘

#### 第3号議案 正会員の退会及び逝去について

会員2名からの退会届の提出及び会員2名の逝去の報告があった。  
退会：加藤美砂江（会員番号127864）

堺順市 (会員番号119524)

逝去：磯部裕 (会員番号 25380、1月 8日)

藤掛南男也 (会員番号 33149、1月31日)

ゲラー理事より堺氏は懲戒処分の検討対象者であるが、会員退会后会友として再入会を認められるかどうかについて質問があり、現行の会友規則では除名処分を受けた者の再入会のみ理事会の承認が必要と回答があった。除名処分の検討対象とした者も同様に扱うべきと提案があり、会友規則を修正して対応可能か事務局で検討することに決定した。

#### 第 4 号議案 次期役員立候補状況について

2月 29日に締め切られた次期役員立候補状況について報告があった。

理事立候補者：伊藤直彦、大橋正幸、ロバート・ゲラー、齋藤陽子、清水康裕、  
寺本直志、橋本公二、鳩山勝郎、細田博之、山田和彦、  
吉田正

監事立候補者：成田秀則

立候補者が理事 11 名、監事 1 名で、ともに定数の下限に 1 名不足しているため、役員候補選出規則に従い、理事会から理事 1 名、監事 1 名の追加候補を推薦することになった。

監事候補として会友の久保公人氏の名前が挙がり、久保氏からの承諾については細田会長から連絡を取って確認することになった。

次回理事会において会員総会の議案を決定する際に追加の理事会推薦候補者を決定することとした。

#### 第 5 号議案 2016 (平成 28) 年度予算案および事業計画書について

提出された 2016 年度の予算案について鳩山会長代行より、NEC ブリッジフェスティバル開催などのため、来年度は約 1700 万円の赤字予算となっているが、NEC ブリッジフェスティバルを開催しない今年度の収支が約 1700 万円の黒字となる見込みのため、2 年通してほぼ均衡となる予算編成を行ったと説明があった。

ゲラー理事より NEC ブリッジフェスティバルはこれまでと同じ規模で行うこととし、ブリテンエディターは前回と同じ 2 名が担当し、前回の NEC 杯を以て引退を表明した Richard Grenside 氏に替わり、ディレクターは ACBL の Matt Smith 氏に依頼したと説明があった。

検討の結果、経常収益 237,634,780 円、経常費用 255,068,415 円、総額 17,433,635 円の赤字となる平成 28 年度予算案を承認した。

清水普及事業部長より、普及事業部の予算・執行状況の年度推移、会員会友更新数・未更新数の推移、助成対象教室等受講者の人数と PM 型体験から入

門講座直結の割合、助成対象教室等の助成金額総額と受講者 1 人 1 回あたりの助成金額、センター毎の月次公認料及び月次残高の推移、入門書籍販売実績について説明があった。

平成 28 年度事業計画書については常設委員会に記載のない競技委員会について、追加記述することとして、これを承認した。

## 第 6 号議案 各委員会及び事業部報告について

### 1. 人事委員会

鳩山人事委員長より 3 月 14 日に開催された人事委員会での議事内容について報告があった。

事務局職員の 2015 年度の業務評価、3 月賞与の支給率、2016 年度年俸について説明があり、これを承認した。

### 2. 企画委員会

山田企画委員長より 2 月 12 日開催の企画委員会及び 3 月 11 日開催の業務執行会議兼企画委員会について説明があった。

懲戒規則第 11 条に定める記録保管制度について、懲戒規則制定時には制度的に不十分であったが、不正問題などにも対応できると説明があり、今後早急に運用細則の承認を求め、2017 年 1 月施行をめざして、まず地方クラブ会議において説明を行い、その後会報などで告知して周知徹底を図ってゆくと説明があった。

検討の結果記録保管制度の導入を承認した。

ディレクターワーキンググループから、試験によって選ばれたナショナルディレクターの 7 年目の更新時期にかかっており、その対応について、一般のナショナルディレクターは 7 年経過後最初の資格試験まで資格を有効とすること、連盟職員のナショナルディレクターは競技委員会が承認した場合、退職後最初の資格試験まで資格試験を受けずに有効とすること、試験問題作成に携わった一般のナショナルディレクターは 1 回問題作成を担当する毎に 2 年間資格を延長することなどの対応策が示された。今後公認ディレクター規則改正を行い、規則化すると説明があった。

ディレクターの評価についてこれまで数回プレイヤーに依頼したが、今回 4 月から 3 ヶ月間にわたり四谷、渋谷での日曜日に開催されるセクショナル以上の競技会及び連盟主催競技会において報告書提出を求めることになったと報告があった。

神代監事よりナショナルディレクター試験合格者が 1 年目 2 名、2 年目 1 名でその後受験者全員の不合格が続いており、現状の育成方法に問題があるのではないかと発言があった。

### 3. センター協議委員会

山田センター協議委員長より 2 月 10 日開催のセンター協議検討会及び 3 月 9 日開催のセンター協議委員会について説明があった。

「対応の難しいプレイヤー」に関するガイドラインを作成し、センター協議委員会において委員及びセンター代表に提示後、3 月 24 日に開催された首都圏センター連絡会での会合に山田委員長が出席して説明を行った。特に反対意見はなかった。

4 月開催の理事会に最終案を提出後、次回センター協議委員会に提示して全センターに配付し、内容については 2 年ごとに見直しを行うと説明があった。

#### 4. 代表選抜委員会

橋本代表選抜委員長より、2 月に行われた第 15 回ワールドブリッジゲームズ代表選抜試合の勝者の報告があり、検討の結果、以下の日本代表メンバー及びウィメン NPC を承認した。

オープン：陳大偉、古田一雄、加来浩、高山雅陽、田中陵華、横井大樹  
ウィメン：岩橋道子、小田由美子、島崎彩子、杉山靖子、椿旬子、  
折原尚子（NPC 希望：清水康裕）

第 15 回ワールドブリッジゲームズのミクストチーム部門の日本代表選抜試合の申込状況について説明があった。

##### ミクスト（2 チーム）

島村京子、西田奈津子、佐藤牧子、成田秀則、小林泰、寺本直志  
桜井雅子、三浦裕明、高崎恵、河野誠、野田祐子、野田裕之  
検討の結果、上記 2 チームの代表選抜試合への招待を承認した。

ウィメン代表メンバーから 4 月に開催される APBF コングレス参加への助成を求める嘆願書について検討を行い、代表助成規則第 4 条第 3 項を適用し、参加料 US\$1000 及び航空運賃の 75%を助成することに決定した。強化目的の助成のため、報告書の提出を求めることとした。

#### 5. 競技委員会

寺本競技委員長より第 239, 240 回競技委員会の審議内容についての報告があった。

#### 6. 普及事業部

清水普及事業部長より以下の説明および報告があった。

- ・これまで大阪で行われていた関西でのゲームマーケットは今回神戸で開催された。
- ・各大学の後期講座の登録者数及び単位取得者数の報告があった。
- ・ジュニアクラブイベント開催状況について報告があった。
- ・普及通信を 2 月 26 日に更新した。
- ・SKYMARK 機内誌 2・3 月号にブリッジクイズ広告を掲載した。

- ・3・4月に体験教室及び入門講習を開催する常設会場を対象とし、告知広告を掲載した。これまで一般紙は朝日新聞のみの掲載であったが、今回は読売新聞にも掲載した。読売新聞を見た方からの問い合わせもあったと報告があった。

- ・世界ユースチーム選手権への選考会を行い、以下のメンバーを選抜したと報告があり、検討の結果これを承認した。

ジュニア(U26) NPC: 三浦裕明

小林阜輝、片桐直人、山田良一、鶴岡和幸、田辺仁士、菊地忠裕

- ・3月7～11日に、春季学生合宿を高尾の森わくわくビレッジで開催し、春季学生選手権は7～10日に6チームが参加して行われ、慶應義塾大学が優勝したと報告があった。

## 7. 競技会事業部

鈴木競技会事業部長代行より競技会事業部活動状況の報告があった。

ゲラー競技会担当理事より来年度の NEC ブリッジフェスティバルについて、国外からトップチームを招待すること、ディレクター、ブリテンについても従来どおり国外に依頼することとし、従来どおりの規模で開催したいと発言があり、これを承認した。

ブリッジメイトは日本の新しい周波数に対応したファームウェアが正式版として公開されたが、正式な認証はまだ行われていない模様と説明があった。

## 8. 国際交流事業部

APBF コングレスでの代表者会議に出席する理事として寺本理事及び大橋理事を指名した。

APBF 同時大会の継続については代表者会議の決定に従うことに決定した。Honorary Secretary の中谷氏については4月の代表者会議後続けてその職にとどまるかどうかによって連盟の対応が異なるため、本人に確認を行い、今回を以て辞任する場合は吉田理事を後継者として連盟から推薦することに決定した。

2017年 Yeh Bros 杯の開催について、椿山荘から7月3日(月)から7日(金)開催の新たな見積書の提示があった。

今回は Yeh 氏側より初日夜にレセプションの開催希望があり、それに伴って金額が増加したが、Yeh 氏側より当初伝えられていた2000万円での開催については、不足分を Yeh 氏側が負担するとの提案があり、検討の結果赤字を出さない前提で開催することを承認した。

吉田理事より NABC では WBF 競技会に準じ、今後上告委員会を開かないことになったと報告があった。

第7号議案 懲戒処分に対する署名入り文書への対応について

清水事務局長代行より文書での説明を求める代表者からの文書が提出されたが、6月6日当日の問題については確たる証拠があれば別の処分を科した可能性はあるが、証拠がないため四谷ブリッジセンターに提出された誓約書の内容に準じた処分としたもので、前回理事会での決定内容と対応は変えないことで一致した。理事会の結論を清水事務局長代行より代表者へ連絡することになった。

また、メールによる問い合わせに対しても同様の内容を返信することに決定した。

第8号議案 その他議案

1. 次回の理事会開催について

次回理事会は2016年4月22日（金）午後6時30分に開催する。

当日配布書類：第3号議案 「退会届」

第5号議案 「普及事業部 予算・執行状況の年度推移」「会員会友更新数・未更新数の推移、会員会友更新割合」「助成対象教室等受講者の人数とPM型体験⇒入門直結の割合、助成対象教室等の助成金総額と受講者一人1回あたり助成金」「センター別月次公認料、センター別月次残高」「入門書販売実績」

第6号議案 「記録保管制度運用細則（案）」「記録保管報告書」

「ディレクターWGからの報告」

「「対応の難しいプレイヤー」に対するガイドライン」

「世界ユースチーム選手権代表承認のお願い、学生選手権報告」

第7号議案 「3月23日付理事会宛署名人代表者提出文書」「3月2日付メール文書記録保管報告書」

平成 28 年 3 月 25 日 (2016 年)

公益社団法人日本コントラクトブリッジ連盟

第 31 回理事会

代表理事 細田 博之

代表理事 鳩山 勝郎

監 事 神代 高弘

監 事 成田 秀則